

そのきらびやかなウィーン舞踏会の世界
世紀を超えて魅る宮廷ロマンティズム

NEW YEAR 2014

ウィナー・ワルツ・オーケストラ

宮殿祝賀コンサート



サンドロ・クトゥレーロ

皆様お馴染み大好評の
ニューイヤーコンサート!!

皆様お馴染み大好評のニューイヤーコンサートが今年も来日します!
ポルカにワルツにオペレッタ。胸躍るシュトラウスの
音楽に、華麗なるダンス、気品高き歌声。
本場ウィーンを彩る祝賀コンサートが待望の再来日!

予定プログラム

美しく青きドナウ

皇帝円舞曲

トリッチ・トラッチ・ポルカ

ラデツキー行進曲

雷鳴と電光 ほか

〈出演予定〉

サンドロ・クトゥレーロ(指揮)

ウィナー・ワルツ・オーケストラ

ダンサー4名、ソプラノ歌手

2014年1月18日(土)15:00開演(14:30開場) 栃木県総合文化センターメインホール

主催/公益財団法人とちぎ未来づくり財団、光藍社

全席指定(税込) 4,000円

通常販売 9月18日(水)
午前10時から右記のプレイガイドで取扱い

◆就学前のお子様のお入りはご遠慮下さい。
◆会場内では、携帯電話等の電源を必ずお切り下さい。
◆会場には駐車場がございません。公共交通機関か、周辺の有料駐車場をご利用下さい。
◆県庁地下駐車場が2時間無料(以降30分毎に150円)でご利用いただけます。
※土・日・祝日:午前9時45分~午後9時30分/平日:午後5時~午後9時30分
(県庁閉館日はご利用いただけません。)

プ
ガ
レ
イ
ド

栃木県総合文化センタープレイガイド(営業時間10:00~19:00)
(電話予約 028(643)1013)(インターネット予約 <http://www.sobun-tochigi.jp>)
下野新聞プレイガイド(東武宇都宮百貨店2F)
宇都宮市文化会館プレイガイド
FKD ショッピングプラザ宇都宮(3F)
FKD ショッピングモール宇都宮インターパーク(2F)
イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン&ケータイ)

■お問合せ/公益財団法人とちぎ未来づくり財団 ☎ 028(643)1010 (文化振興課)
〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター

ウィーンの音楽に、心も体も酔いしれるひととき。 2014年の年明けは、新春コンサートの決定版で!

「時代を超えた名声」とは、どのくらいの年月に渡って轟き続ければその名に値するのだろうか?歳月だけでなく、老若男女あらゆる世代に、国境を越えて喝采されることも条件と言えるだろう。

19世紀の後半50年のすべてにわたって、いや、今日になってもなお人々の心を幸せにしてくれる音楽を作曲して名声を轟かせた音楽家に、ワルツ王ヨハン・シュトラウス2世がいる。デビューするや父1世の人気を一気に蹴落とし、彼が率いる楽団はウィーン、いやヨーロッパ中、果ては遠くアメリカまで引っ張りだこになった。誇張ではなく、一日中街のあちこちで彼の音楽は鳴り響き、人々は舞踏会に明け暮れた。同時代のブラームスやワーグナーがいくら素晴らしい音楽を発表しても、支持は一部の人々に留まったに過ぎない。シュトラウス2世は、人気絶大のスーパースターだったのである。

没して100年以上経つが、シュトラウス2世の音楽は世界中で演奏されている。新年を迎えると、彼の作曲したウィンナーワルツやポルカという「華」が次々と演奏され、「ニューイヤーコンサート」と銘打ってプログラムを彩っている。つまり、影響力という意味でもヨハン・シュトラウス2世こそ、歴史に残る名声を得た音楽家なのだ。

彼が残したものは、ワルツ音楽の芸術性を高めたばかりではない。堅苦くなく音楽を楽しむこと、音楽で人々を楽しませる精神も私たちに教えてくれた。

このことを最もよく体現しているオーケストラが2014年1月早々に来日する。お馴染み「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」。2000年の初来日以来、実に15年連続の公演だ。15年という年月にもその人気ぶりが伺える。シュトラウス2世が優雅で楽しい音楽を目指したと同じように、見て聴いて楽しめる新春コンサートなのである。

ウィーンで活躍する精鋭音楽家たちが、シュトラウス2世の名曲を中心にウィーン音楽の甘さ、切なさ、美しさをコンサートホールいっぱい演奏する。そして、エンターテインメント性抜群の指揮者、サンドロ・クトゥレーロが観客をリラックスした楽しめる雰囲気誘い込む。歌手はウィーンの心を歌い上げ、男女のバレエダンサーがワルツ王の時代そのままに、音楽に乗って華麗に舞う……。

2014年新春は、この素晴らしい「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」のコンサートで、晴れやかな楽しさとともに新しい年を祝賀したい。

新年に幸せを呼ぶ、クラシック界の名物アンサンブル。

2014年の「ニュー・イヤー・コンサート」は『ウィンナー・ワルツ・オーケストラ』で!



サンドロ・クトゥレーロ (指揮者)

1961年、イタリアのトロペアに生まれる。1980年、ローマのサンタ・チェチーリア国立音楽院においてセルジオ・ペルティカローリにピアノを師事。その後、ローマ大学で政治哲学を専攻し、優秀な成績で博士号を取得。1985年よりウィーンに移り、ピアニスト、作曲家および指揮者として更なる研鑽を積む。

1990年、「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」を設立。1994年にコンツェルトハウス、1997年には楽友協会ホールなど、ウィーンの有名なコンサートホールにおいて数多くのコンサートを行った。

1996年、イタリアでベネチア室内管弦楽団を設立。ヴィヴァルディの「四季」のようなバロック作品の演奏を得意とするこのオーケストラは、ベネチアで大きな成功を収めた。

1997年にはプラハ・モーツァルト・オーケストラを設立。芸術監督としてプラハ

に招かれ、プラハ・スタヴォフスケ劇場やドルフィナム、スメタナ・ホールなどの重要なコンサートホールにおいて、モーツァルトの交響曲およびオペラのコンサートを開催した。

これら3つのオーケストラは、中国の南寧国際フェスティバル、韓国のソウル・アーツ・センター、東京のオペラシティや日本の有名なホールでコンサートを行い、好評を博している。

ソリストおよび指揮者として、W.A.モーツァルト、J.シュトラウス、A.ヴィヴァルディの作品の演奏を数多く録音。クトゥレーロ指揮によるヨーロッパのアーティストとオーケストラによる演奏は、中国国民放送、韓国、日本、イタリア、オーストリア国営テレビなどにより収録された。1990年から2000年の間には、ヨーロッパとアジア各地で年間80回を超えるコンサートを行い、ピアニスト兼指揮者として精力的に活動している。

さらに哲学と文学の分野でも才能を発揮し、近年発表された彼の詩集は評論家などからも絶賛されている。

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、日本でもすっかりお馴染みのサンドロ・クトゥレーロにより、宮殿での祝賀コンサートを機に設立された。クトゥレーロ氏の「ワルツへの愛と情熱」に賛同した才能溢れる演奏家が彼のオーケストラに参加。ウィンナー・ワルツのルネッサンス(復興)をモットーに、シュトラウスのウィンナー・ワルツを最高の形で観客の皆様にお届けすることを目指している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに

曲によって数名のバレエ・ダンサー、歌手が登場し、楽しい踊りと美しい歌声が雰囲気を盛り上げ、ウィンナー・ワルツをより楽しませてくれる工夫がなされている。

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、ウィーンの優れたシュトラウス・アンサンブルの一つに数えられ、観客の多くがウィーン情緒たっぷりのこの公演を楽しみにしている。多種多様な演出も楽しみのひとつであり、過去14回の来日公演も大好評を博した。

【ダンサー4名、ソプラノ歌手出演予定】

ご注意とお願い

- 会場内における飲食、喫煙はご遠慮下さい。
- 写真撮影、録画、録音等は禁止させていただきます。
- 未就学児童のご入場はお断りいたします。
- 開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。
- 都合により曲目が変更する場合もございます。ご了承下さい。